

私たちが受け取った

《第84回定期演奏会》

めぐろのメロディー

目黒区民交響楽団は12月に定期演奏会を行いました。若い人からお年寄りまで老若男女が一つになって奏でるめぐろのメロディーです。音楽に興味がある人もあまり関心がない人も、楽しんで聴くことができる選曲になっていました。実際に演奏会に行った「めぐろ」の編集員も、皆が満足できた素晴らしい演奏でした。このように定期演奏会が行われることで、若い人でも気軽に音楽に触れ合うことができますね！



めぐろパーシモンホール
大ホール
12月11日(日)



● 今までに何度かオーケストラを聴きにいったことはあったのですが、最前列で聴けるという体験は私にとって初めてでした。楽器一つひとつが曲のパーツとなり音楽を奏でていて感動しました。また、最前列だったので、演奏者の表情が見られました。みなさんとても生き生きと輝いていて観客のこちらも音楽と共に楽しめました。(正姫)

● 「目立ちはしないが後ろで支える」存在である打楽器が、とてもかっこよく見えました。(慧理那)

● 席が前から2番目だったので、楽器一つひとつの響きやメロディーがよく分かり、今まで以上に音楽を様々な視点からみることができたので楽しかった。(はつみ)

● 圧倒的な迫力で、演奏するところと、静かになるところの差が大きくて、メリハリのある演奏でした。情景が伝わってくるようなところは、自分の活動に活かせるのかなと思います。(遥)

● どの曲も大好きになりましたが、私はリムスキー・コルサコフの「スペイン奇想曲」が特に印象的だと思いました。ヴァイオリン、チェロ、ハープなどのソロ部分がそれぞれ素晴らしい、演奏者の表情をちゃんと見ることができたことが今までにない経験で楽しかったです。(由妃)

● 迫力があってきれいで、この日までたくさん努力してきたのだと思いました。また、生で聴くのとCDで聴くのでは、大きな違いがあると思いました。(あい)

● 初めてオーケストラの演奏を聴きました。CDやテレビで聴くとは全く違って、弦楽器の伸びやかできれいな音や、それぞれのソロの音がすごかったです。私は、吹奏楽部でクラリネットをやっているのですが、こんなにも大音量が出て、遠くまで響く厚みのある音が出るのだと知って驚きました。(美早季)

● 私は吹奏楽部なので、管楽器の演奏は聴きなれているのですが、弦楽器の演奏やオーケストラを初めて聴きました。私たちが演奏している管楽器の演奏よりも、音の厚みが増したように感じました。また、弦楽器と一緒に演奏したいと思いました。(晏実)

● 先の練習に比べ、団員の方がとても多いことに驚きました。また、吹奏楽よりも人数が多いため、音を合わせるのが難しそうなのですが、ぴたりと揃っていたことがすごいいいと思いました。前で聴いていると、弦楽器のピツピツィカート演奏法をしっかりと聴くことができてよかったです。みなさんが楽しく真剣な表情で演奏していたことが印象的でした。(夢里)

ステキな演奏をありがとう！

オーケストラの皆さんは、見ている私たちにも伝わるぐらい楽しそうに演奏していました！
音の迫力にもビックリです！



▲演奏後、事前の取材に答えてくださったお二人とお会いできました。

取材・文・写真：大坪夢里、小泉慧理那、森長亜実果、鹿野由妃、清水あい

公演当日取材：岩城正姫、梅田美早季、大坪夢里、河合晏実、小泉慧理那、鹿野由妃、清水あい、はつみ、松川遥、森長亜実果